資料３

ワークショップ実施報告

【名称】WS「みんなで考えようこれからの明石のまちづくり」
【日時】2025年7月12日（土） １４：００～１６：００
【場所】南会議室棟2階 旧食堂スペース
【参加】26名

【１、市からの情報提供】

・明石のまちの状況とまちづくりについて
・策定スケジュールについて
・総合計画制度について（あかしSDGs推進計画と前期戦略計画）
・まちづくり市民意識調査の結果について

【２、ワークショップでの市民の声（今後、市に期待する取組）と対応する計画の項目】

ワークショップでいただいた市民の声は、後期戦略計画の各項目の作成にあたって参考としています。
それぞれのご意見に対する計画の項目は以下のとおりです。

ワークショップの声	対応する計画の項目
○まちづくり戦略 ・あいさつで笑顔あふれるまちにしたい。 ・「対話と共創」のやさしいまちづくりを日本全国に広げてほしい。 ・自然と生活が一体になった暮らしができる街 ・自然の豊かさを実感できるように市民も参加(環境保つ・自然の中で遊ぶ・みんな関心を持って活動)できる街 ・コミュニケーションの活性化についてジェネレーションを超えた魅力ある場があれば。 ・世代を超えたつながりを持てる場所が欲しい。 ・障害者のことも本気で取り組んでほしい。個人に負担がかかってお手上げ状態! ・高齢者の活動ができる場所や機会を増やし世代を超えた交流のまちとして、市外の人にも広めていきたい。 ・戦略的な都市基盤の整備を進める。 ・Stop the 少子化　出生率 1.63→2.07のために、子育て支援(母子家庭・高校卒業後) ・独自の支援を増やし、50年後も人口増を目指す。 ・適正な支援を、本当に困っている人に。但し、受益者負担も考慮して。 ・様々な事情をもった家族・特に女性の地位向上のために 1.大学までの経済的支援(進学率の向上にむけて対応) 2.同一労働、同一賃金の徹底(非正規の扱い) 3.雇用条件・家庭労働のサポート 4.男性の働き方の多様化 ・明石にすでにあるものをいかした「仕掛け」をして「対話」「つながり」「観光」を生みだしてほしい。	・対話と共創によるもっとやさしいまち明石の創造ー市民の笑顔があふれる明石市にー(P11～) ・①「こどもを核としたまちづくり」「誰にもやさしいまちづくり」の深化 ・②対話と共創のまちづくりの推進 ・③人口を維持するための経済・社会・環境の三側面からの戦略の推進
○柱１　豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める ・みんなでゴミの量●●kg減らせたら→オリジナルエコバッグとかエコボトルプレゼント　垂幕たらして祝う@明石駅 ・昔は自然が今より多かったことを知って、今の自然環境を変えて生き物がもっと増えるとうれしいと思いました。海や公園で遊べたり、身近に生き物(鳥・ヤモリ・ホタル)がいると嬉しい。 ・ため池や田んぼが失われないよう、企業やシニア・子供たちなどいろいろな人の力を合わせて保護活動をする。 ・自然教育に力を入れる。 ・こどもも大人も高齢者もみんなで観察会(昔いた生き物、今も昔もいる生き物、今だからいる生き物)。 ・自然にみんながふれ合うイベントをつくる。 ・自然リーダーが集まってPRプロジェクト ・環境について相談できる「なんでも相談室」が市民センター・市役所にあればよい。 ・田・畑・林・海のなりたちを気楽に体験する。 ・生き物(の形・生き方)をじっくり見る機会をつくる。	・持続可能（サスティナブル）なまちへ(P9) ・循環型社会の実現(P19) ・自然環境の保全と活用(P19)

〇柱2　笑顔あふれる共生社会（インクルーシブ社会）をつくる ・市全域で自治会離れが進んでいる。 明石市もいっしょにどうすればいいか考える場を作ってほしい。 ・高専・看護大生・明商生が協力して、障害者児・小学生を海岸等でキャンプ・水遊びを計画する ・真の多様性教育を推進する為に大人に対する教育の充実。 ・地域のコミュニティスペースで高齢者が主体で子どもから大人までを対象としたサークル（勉強会・ゲーム練習大会等）を催すことを支援する。 ・高齢者が歩行器を押しながら安全に歩ける歩道の整備。外を安全に歩くことができれば、知り合いと話ができ、認知症予防や健康増進の効果がある。 ・認知症予防にマージャンのゲームソフトを導入する。	・人がつながり支え合う共生社会(インクルーシブ社会)づくり(P7) ・支え合う地域づくり(P22) ・自分らしく生きることができる社会づくり(P23) ・健康・長寿の推進(P24)
〇柱3　こども・若者の育ちをまちのみんなで支える ・こどもの居場所を増やす(あそべる・学べる・話せる場所)。 ・20歳までの学生のための給付型支援制度の充実。 ・ファミサポのあり方。協力者の責任が重く、参加しにくい。もっと協力しやすく。	・安心してこどもを産み、子育てができる環境の整備(P26) ・こども・若者の状況に応じた適切な支援(P27)
〇柱4　安全・安心を支える生活基盤を強化する ・災害時の備蓄のうち、乳幼児に関する物品を地域のこども園で余分に購入してもらい、必要時には提供してもらう。 ・高齢者が安全に自転車に乗れたり、たこバスで移動できるように、ダイヤも改正してほしい、道路整備してほしい。 ・高架下のスペース、夏場のあそび場として利用できると良い。(西明石・こだま公園)	・防災・感染症対策の強化(P30) ・誰もが利用しやすく安全で強靭な都市基盤の整備(P31)
〇柱5　まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す ・西明石は交通の便が良いのに寂れている。人が集まれるような施設があれば。 ・海・漁業・魚の棚・大蔵海岸を結びつける産業創出。 Ex:ヨットハーバー・海と陸の漁業・フィッシャーマンズワーフのようなにぎわい・世界１のビーチスポーツ地 ・大蔵海岸でプロのビーチバレー大会等の大きな大会開催したい!! ・学習、体験(産業・漁業)スペースの拡充。 ・明石公園でくつろげる場所、手軽にお茶や食事ができるところが欲しい。	・地域産業の振興(P34) ・豊かな心を育む文化・芸術の推進(P35) ・まちの魅力を生かした賑わいの創出(P35)
〇効率的・効果的な行政運営 ・市民の「参画感」のある営み。 自分で考え・行動・意見で〇〇が～なった。Ex:「明石といえば〇〇」に自分が貢献できた。	・市民と共にまちを創る(P38)

◆情報提供

◆各グループでの対話

◆各グループでの対話

◆グループ発表